

CONTENTS

新版発行にあたって

平岡昌和 有田 眞 小川 聡 山口 巖 中谷晴昭 ————— 3

Chapter 1

アミオダロンの薬理作用 児玉逸雄

はじめに	9
心筋のイオンチャンネルと活動電位	10
アミオダロンの短期作用	12
アミオダロンの長期作用	16
アミオダロンの代謝産物	18
アミオダロンと甲状腺ホルモン	18
Gambitプロフィール	19
アミオダロン類似薬	20
まとめ	21

Chapter 2

アミオダロンの臨床使用と注意点 志賀 剛

はじめに	27
臨床薬理	27
適応	29
用法・用量	30
血中濃度モニタリング	34
アミオダロンと薬物相互作用	36
—薬物動態学的相互作用—	
日本人における長期成績	37
—米国との比較—	
副作用と注意点	40
アミオダロン静注について	43
おわりに	45

Chapter 3

アミオダロン療法の新しい展開

—心房細動と心不全治療への可能性を求めて—

栗田隆志 安村良男 田口敦史 清水 渉

須山和弘 相原直彦 鎌倉史郎

はじめに	49
心房細動に対する効果	50
心不全に対する直接効果	57
おわりに	59

Chapter 4

アミオダロンによる肺合併症への対応 坂巻文雄

はじめに	65
アミオダロンによる肺合併症の頻度	66
アミオダロンによる肺合併症の診断	66
肺合併症の予測因子や診断方法の現状	67
病型によるアミオダロン肺合併症への対応	70
おわりに	71

Chapter 5

アミオダロン療法による長期予後 三田村秀雄

はじめに	75
アミオダロンによる一次予防効果	76
アミオダロンによる二次予防効果	81

Chapter 6

アミオダロンによる不整脈治療の実際 久賀圭祐 山口 巖

諸外国と本邦におけるアミオダロンの使用実態（本邦全例調査の結果から）	91
心房細動の予防	97
不整脈に対する治療の現状と将来：アミオダロンの位置づけ	102
心肺蘇生に対するアミオダロンの使用	104
ICDとアミオダロンを含めた抗不整脈薬治療との比較	105
まとめ	109

Chapter 7

アミオダロン静注薬の使い方と効果 杉 薫

はじめに	113
アミオダロンの静脈投与と経口投与の効果の相違	114
アミオダロン静注薬の有効性と適応	114
アミオダロン静注薬の副作用	117
今後の展望	119
おわりに	121

Chapter 8

心不全を伴う心房細動診療におけるアミオダロンの位置づけ 山下武志

はじめに	123
心不全と心房細動の悪循環：疫学情報から	124
欧米のガイドライン	127
AF-CHF試験の意味するところ	128
薬物治療を行う場合のリスクとベネフィット：アミオダロンの位置づけ	129
実際の臨床現場で	130